



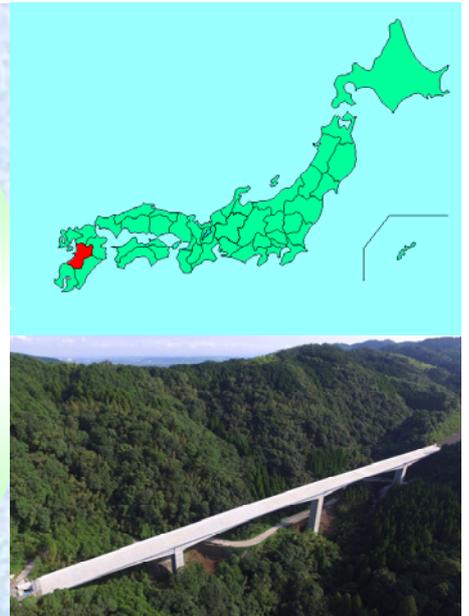
おおたがわぼし
太田川橋

太田川橋は、九州縦貫道と東九州道を結ぶ九州中央自動車道（九州横断道延岡線）に位置し、路線区内の橋梁では最大橋長となる橋梁上部工となります。

九州の東西軸を一体化することで循環型の高速ネットワークが形成され、産業・観光・防災・医療など様々な地域貢献が期待される路線です。

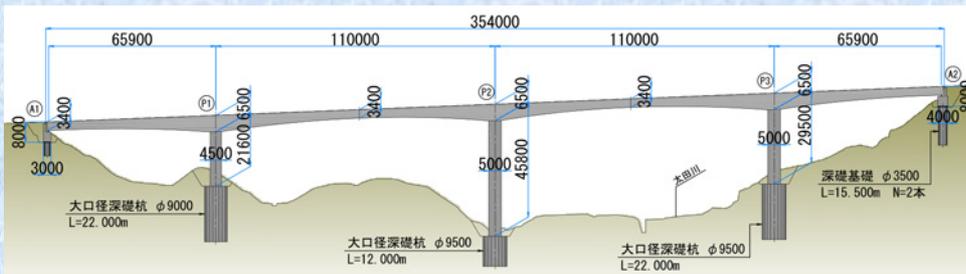
同じ路線で本橋の東側に位置する矢形川橋と八勢川橋は、当社が上部工を施工しました。

平成30年の小池高山IC～北中島IC（10.8km区間）までの開通に向け平成29年8月に完成しています。

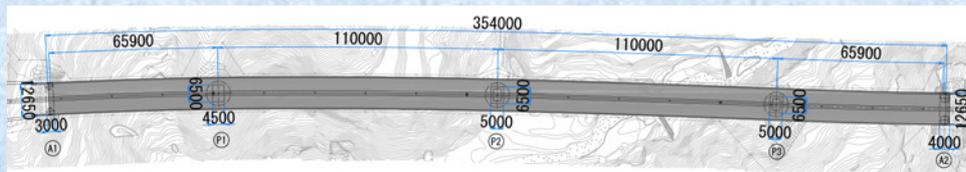


◆一般図

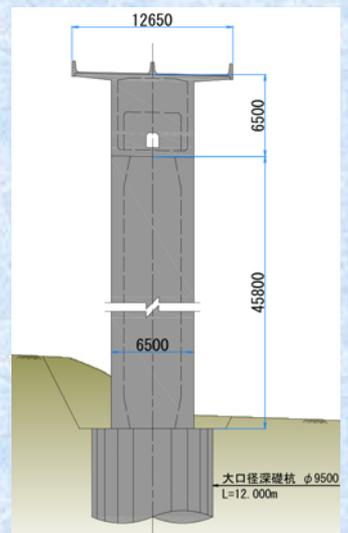
側面図



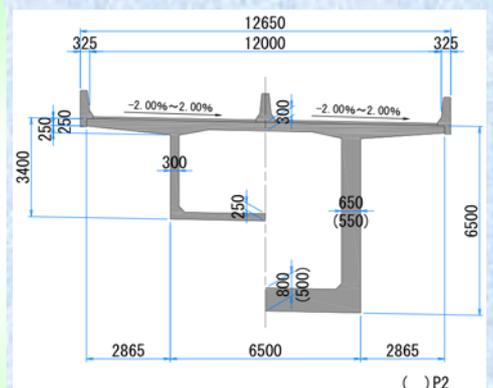
平面図



断面図



断面詳細図

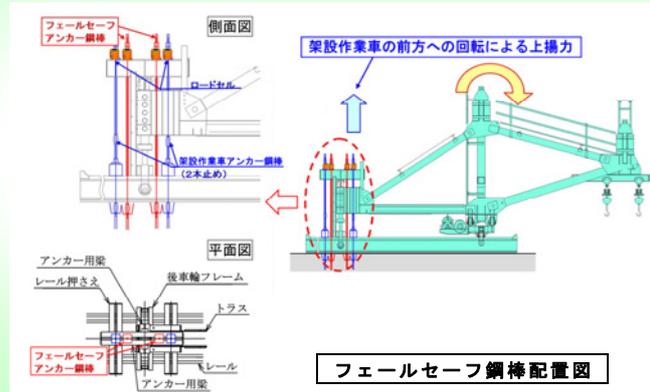


◆橋梁諸元

- 工事名：九州横断道（嘉島～山都）太田川橋上部工工事
- 発注者：国土交通省九州地方整備局
- 設計者：(株)オリエンタルコンサルタンツ
- 位置：熊本県上益城郡御船町大字田代地内
- 路線名：九州横断道自動車道延岡線
- 道路規格：第1種第3級B規格
- 形式：PC 4径間連続ラーメン箱桁橋
- 荷重：B活荷重
- 橋長：354.0m(65.9+2@110.0+65.9m)
- 総幅員：12.65m(有効幅員 12.00m)
- 架設工法：張出し架設工法
- PC鋼材：主方向：SWPR7BL 19S15.2（フレシネー工法）
SWPR7BL 12S15.2B（SEEE工法）
横締め：SWPR19L 1S28.6（SM工法）

◆構造・施工概要

- 1) 本橋は谷地形方向に対して斜めに架橋されるため、最大支間長 110mと支間の大きな橋梁になっています。構造は一般的なコンクリート箱桁構造です。架設工法は張出し架設工法を採用しています。
- 2) 本橋の下には太田川が流れており、工事用水を流さないように環境に配慮しながらの施工を行っています。
資機材の落下防止対策として、網柵とメッシュシートによる2重防護柵を設置しています。
- 3) 架設作業車の回転落下防止対策と逸走落下防止対策として、右図に示すフェールセーフ鋼棒を設置しています。
- 4) 工事進捗 50%の時点で平成 28 年 4 月の熊本地震の震災を受け、3 ヶ月の中止期間を経て平成 29 年 8 月に完成しています。



柱頭部施工状況



架設作業車組立状況



張出し架設状況



中央閉合施工状況



側径間施工状況



震災状況

◆工程表

項目	平成27年												平成28年												平成29年										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
準備工	■																																		
柱頭部					■																														
張出し架設部									■																										
中央連結部													■				■				■				■										
側径間支保工部													■				■				■				■										
橋面工・付属物																									■										
片付け工																									■										